

ご挨拶



金沢大学法経文学部同窓会
会 長 安宅 建樹

金沢大学法経文学部同窓会会報第10号をお送りするに当たり、一言ご挨拶申し上げます。昨年は、2年に一度の全国総会を8月に金沢で開催しました。盛会裏に終了することができ、全国各地からご参加いただいた会員の皆様に改めて感謝申し上げる次第です。

さて、本来なら「当地金沢では、北陸新幹線が開業して丸5年が経過し、華やかに記念イベントが開催される中、相変わらず大勢の方がここ金沢にお越しになり～」と挨拶するところですが、新型コロナウイルスが全世界的に猛威をふるって、全く様変わりの状態となりました。緊急事態宣言、外出自粛、休業要請等が出され、世の中の流れが完全に止まっており、会員の皆さまもいろいろとご苦労されていることと存じます。石川県も感染者数が多く、人口当たりの感染者数は東京について全国2番目で、金沢に限って言えば、東京よりも多いというかなり深刻な状況となっています。

いわゆる「3密」を避けるため、人が集まる催し物も相次いで中止となり、6月上旬に開催予定としていた法経文学部同窓会理事会も残念ながら中止とさせていただきました。

母校金沢大学も、新型コロナウイルスの影響で、卒業式は縮小、入学宣誓式は中止となり、ようやく4月下旬から大学へは通学せずにオンラインでの遠隔授業を開始したようです。山崎学長は、そんな中、新入生に向けたビデオメッセージの中で、「この状況は大きな試練であるが、一方でICTを活用した遠隔授業や遠隔診療、あるいは各企業におけるテレワークなどが、今後のビジネスを変革し、世界を一変させる大きな波となるだろう」と言われています。私が働く会社でも多数の社員がテレワークを行い、新入社員の研修もWebを使って遠隔で実施しています。新型コロナの影響で必要に迫られて経験したことで、こういった変革がより一層進むといった側面もあるのかも知れません。

この挨拶は、ゴールデンウィークの休暇を利用して書いていますが、現時点でまだまだ先が見える状況ではありません。会報が皆さまのお手元に届くころに少しでも状況が好転していることを願うばかりです。同窓会活動もしばらく縮小せざるを得ませんが、この状況も必ず終息する時期が来ます。その時まで皆さん頑張ってください！

最後になりましたが、会員の皆さまのご健勝をお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

第10号

目次

- | | |
|---|-------------------|
| 1 ご挨拶 | 9 各地の同窓会の報告 |
| 2 本部の活動状況
主な活動一覧・理事会・全国総会・OBゴルフ会 | 10 会報誌発行協力金ご入金ご芳名 |
| 4 各支部の活動報告
東京支部・関西支部・名古屋支部・福井支部・富山支部 | 11 2020年度役員名簿 |
| | 12 金沢大学からのお知らせ |

本部の活動状況

主な活動一覧

2019年度(令和元年)同窓会の主な活動 <報告>

4月9日(火) 役員会
 6月8日(土) 名古屋支部総会
 6月10日(月) 理事会
 6月14日(金) 第18回金沢大学学友会 理事会
 7月27日(土) 福井支部総会
 7月28日(日) 第75回法経文OBゴルフ会
 8月31日(土) 全国総会
 9月28日(土) 東京支部総会
 10月19日(土) 関西支部総会
 10月26日(土) 第13回ホームカミングディ

11月4日(祝月) 第76回法経文OBゴルフ会
 令和2年2月14日(金) 富山支部総会

2020年度(令和2年)同窓会の主な活動 <予定>

9月26日(土) 東京支部総会
 10月3日(土) 関西支部総会
 10月4日(日) 名古屋支部総会
 10月31日(土) 第14回ホームカミングディ
 11月15日(日) 福井支部総会
 - 第77回法経文OBゴルフ会

理事会

2019年度 第1回理事会・理事懇談会

〔2019年6月10日(月) 金城楼〕

元号が令和に代わって初の理事会は6月10日(月)、理事39名が参加して、金沢の金城楼で行われました。

安宅会長の挨拶の後、事務局から2018年度の活動報告と決算、及び2019年度の活動予定と予算案の説明があり、2018年度決算と2019年度予算案が承認されました。2019年度の予算案の中では、一昨年に続き、母校支援金の中から100万円を拠出して、金沢大学基金への寄付を行うことも承認されました。この後、8月に開催される全国総会の日程・内容や東京支部長の交替等について、事務局から報告されました。また、12期の北さんと20期久保さんから、金大角間キャンパス内の里山整備活動を行っている、NPO法人「角間里山みらい」の紹介がありました。

理事会に引き続き、理事懇談会を開催しました。理事懇談会では、新たに東京支部長に就任された中田支部長の



中田東京支部長



上野名古屋支部長



村田福井支部長



森関西支部長



松田富山支部長

乾杯で懇談に移り、旧交を温めました。各支部からの近況報告が行われた後、最後に金沢大学校歌と四高寮歌を全員で合唱し、最後は加藤顧問のユーモアあふれる中締めで盛会のうちに終了しました。

2019年度 第2回理事会 〔2019年8月31日(土) ホテル日航金沢〕

2019年度第2回の理事会は、全国総会に先立ち理事41名の参加で行われました。

理事会では、役員改選について話し合わせ、理事会として安宅会長以下、現在の役員が全員再任される形で総会に推薦することを決議しました。

全国総会

〔2019年8月31日（土） ホテル日航金沢〕

令和に元号が代わって最初の全国総会となった2019年度全国総会は8月31日（土）、ホテル日航金沢において会員89名が参加して行われました。冒頭安宅会長が挨拶し、早速議事に入りました。2017年度、2018年度の事業報告並びに決算報告、金沢大学基金への寄付実施の報告の後、役員改選では安宅会長以下現役員が全員再任されました。（後掲の役員名簿を参照ください）

引き続き記念講演会を開催し、今回は元大相撲小結で、現在NHK大相撲解説者として有名な舞の海秀平氏に、「決してあきらめない」と題して、ご自身の相撲人生や大相撲の裏話、地元出身の遠藤、炎鵬、輝へのエールなどについて、ユーモアを交えながら約1時間にわたり講演をいただきました。

この後は懇親会に移り、ご来賓として、大学から山崎学長、村井人間社会学域長、三浦人文学類長、合田法学類長、佐藤経済学類長、志村国際学類長、村田学友支援室長の皆さまにご臨席をいただきました。

まず、にし・ひがしの芸妓（金大卒の唐子さんも参加されていました）による踊りで華やかに開幕し、安宅会長の歓迎の挨拶に続いて、安宅会長から山崎学長へ金沢大学基金への寄付目録の贈呈を行いました。その後、ご来賓を代表して山崎学長から大学の近況や改革の取組状況等のお話を頂戴し、村井人間社会学域長の乾杯の発声で歓談に移りました。全国から集まった旧友と各年代で旧交を温め、いろいろと近況や昔話に花を咲かせました。あっという間に時間は過ぎ、最後に、全員で金沢大学校歌と四高寮歌「北の都」を大合唱し、加藤顧問の中締めで、2年後の再会を約束しながら盛会のうちに終了しました。



安宅会長



山崎学長

法経文OBゴルフ会

第75回大会

第75回法経文OBゴルフ大会（会長：佃一成 経10期）が令和元年7月28日（日）、金沢市のゴルフ倶楽部金沢リンクスで開催されました。スタート時の雨もすぐに晴れ、安宅同窓会長はじめOB・OG 18名が、猛暑の中、熱戦を繰り広げました。

2年間のブランクと遅刻者による第1組への急な組み合わせ変更をものともせず、地力を発揮した番匠啓介さん（経39期）が3年ぶりの優勝を果たしました。



優勝の番匠さん（左）

第76回大会

第76回法経文OBゴルフ大会（会長：佃一成 経10期）が令和元年11月4日（月）、小松市のゴルフクラブツインフィールズで開催され、秋晴れの下、安宅会長ほか初参加4名を含むOB・OG 19名が参加し、熱戦が繰り広げられました。

優勝は、これまで幾度もベスグロを取りながら優勝の無かった磯部賢さん（経30期）が念願の初優勝を果たしました。



優勝の磯部さん（左）

各支部の活動報告

東京支部

支部長 中田 好昭

1 「平成30年度定期総会」

令和初の定期総会は、令和元年9月28日（土）、例年通り霞が関ビルで、金沢大学、同窓会本部・同支部等から多数ご出席いただき開催されました。ご来賓を代表して、加納副学長、合田法学類長、新宅本部副会長からそれぞれ大学の活動状況や同窓会本部の取組についてご挨拶をいただき議事に入りました。事業報告や会計報告等に次いで、組織強化のための今後の活動計画等について支部長から具体的な説明を行いました。

2 「合同講演会」及び「合同懇親会」

令和元年の講演会講師は、昭和48年に本学薬学部を卒業し、現薬学関東同窓会会長の医学博士清木元治氏です。「画期的治療法開発のためにがんを知る」と題して、画期的な治療法の開発のためには徹底的に敵（がん）を知ることが重要であることを、具体例を示しながら力説されました。



3 「合同懇親会」

各学部との合同懇親会は初回から12年目になり、その運営方法も定着して年々盛大になっています。校歌斉唱の後、来賓代表の山崎学長から大学改革に関する意欲的な取組と現状についてご挨拶をいただき、新宅本部副会長の乾杯で宴を開きました。例年を超える170名余の参加者が各学部の垣根を越えた懇親の輪を広げ、恒例の各部の学生歌、四高寮歌などが放歌高吟され予定時間をかなり超過する中、名残を惜しみながら宴は閉じられました。

4 「東京支部の同好会活動」

当支部では、同好会活動として北の都会「月例会」及び「ゴルフ会」（年2回）を開催していますが、いずれも、法経文学部以外の全学同窓生も参加して開催されています。

「月例会」は昭和25年に第1回例会が開かれてから令和元年11月6日で第800回を迎えたことから記念の行事等が盛大に行われ、主催者や参加者は更なる継続と結束を誓い合いました。

（東京支部長 中田好昭 記）



「北の都会」第800回月例会



東京支部 連絡先

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1

有楽町電気ビル南館1356区 丸の内仲通り法律事務所

Tel. 03-3212-7986 Fax. 03-3212-1890

支部長 中田好昭 (E-mail: nakanaka207@iris.ocn.ne.jp)

関西支部

支部長 森 恵一

私は、平成29年10月の支部総会で支部長に選任され、前任の大平支部長から引継ぎを受け、昨年の支部総会（令和元年10月19日）で再任されました。さらに2年支部長を務めることになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

この1年間の支部活動の報告をさせていただきます。

関西支部では、最近では毎年10月に同窓会の交流の場として総会・懇親会を開催しております。そして2年に1回は、金沢工業会近畿支部との合同開催として執り行っております。昨年は合同開催の年になり、10月19日（土）に、例年と同様大阪新阪急ホテルにて「支部総会と懇親会」を開催いたしました。さらに、総会懇親会に合わせて「ステークホルダー協議会in大阪」を初めて開催しました。これは、一昨年に東京支部においてステークホルダー協議会in東京を開催されたのに続いての開催となりました。これらの来賓として、大学からは山崎学長、向副学長、村井人間社会学域長、三浦人文学類長、村田学友支援室長が、同窓会本部からは槻木副会長、伊東副会長が出席されました。各支部からも村杉東京副支部長、上野名古屋支部長、村田福井支部長、松田富山支部長にご参加いただきました。

ステークホルダー協議会in大阪では、山崎学長から「～皆が頑張る、地域に愛され、世界に輝く金沢大学～」とのテーマでスライドを使用され、わかりやすかつ詳細な報告がなされました。その後予め提出された法経文学部からの概要は以下のような質問に対して、山崎学長から懇切丁寧な回答がされました。

- ① 入試の競争率、倍率を高め潜在能力の高い学生を採る対策
- ② 2012年度にスタートする法曹コースについて、司法試験合格者増に寄与するのか
- ③ 後期文系後期理系一括入試
- ④ マスコミ等に対する金沢大学のアピール度の強化策
- ⑤ 金大卒業生への細やかな情報発信が基金への企業からの寄付の増加策につながるのではないか



総会、懇親会、協議会を通して、会員の出席者は35名で、一昨年とほぼ同様でした。しかしながら、懇親会では本年も関西支部らしく来賓の方々と和気藹々とした楽しく活気のあるものとなりました。参加いただきました皆様に心より御礼申し上げます。なお、役員改選により、幹事長に中山淳さん、事務局長に大淵和夫さん、監事に斎藤晃一さんが新たに就任されました。支部長、副支部長ともどもよろしくお願いいたします。

最後に、関西支部においても、一人でも多くの同窓生に参加してもらえるように今後とも叡智を集めて創意工夫を重ねたいと思います。同窓会のさらなる活性化を目指して参りたいと思います。（関西支部長 森 恵一 記）



関西支部 連絡先

〒604-8162 京都市中京区烏丸通六角下ル七観音町623番地
第11長谷ビル9階 FVCアドバイザーズ株式会社 気付
Tel. 075-253-0501 Fax. 075-320-3521
幹事長 中山 淳 (E-mail: j-nakayama@fvc-ad.co.jp)

各支部の活動報告

名古屋支部

支部長 上野 健

名古屋支部の紹介

法経文学部同窓会名古屋支部は、愛知・岐阜・三重県に在住する会員で構成されており、現在、会員総数が3,000名を超える大所帯です。

昨年度の総会は、6月8日（土）に名鉄グランドホテルで開催し、ご来賓と会員合せて、46名の参加がありました。

今年の名古屋支部の活動としては、3月26日（水）、名鉄グランドホテルにて、幹事会を開催し、会計報告、事業計画、総会の運営や準備等について協議しました。

名古屋支部の総会は毎年6月に開催していましたが、2020年度の総会は、新型コロナウイルスの感染防止のために、10月4日（日）午前11時30分より、名鉄グランドホテルの11階「柏の間」にて開催する予定です。

毎年、総会では、大学の同窓会担当理事、学友支援室長、人間社会学域の学類長、同窓会本部及び各支部の役員の方をご来賓としてお招きしています。大学のご来賓の方からは、最近の金沢大学及び人間社会学域の動き等をお話していただいています。

毎年、懇親会では、同窓会の幹事が様々な景品を持参し、外れ無しの「お楽しみ大抽選会」を行っており、会場は、大変盛り上がります。又、参加者全員が、金沢での青春時代にタイムスリップし、にぎやかで楽しい一時を過ごせる場になっています。

いつも懇親会は、最後に大学校歌、四高寮歌等を声高らかに合唱し、幕を閉じます。

なお、東海地区の他学部同窓会とは、毎年一回、交流しています。法経文学部始め、医学部・薬学部・工学部による四学部同窓会代表者会を開催し、情報交換をしています。

5年に一度、「東海地区合同同窓会」を開催することが決定しており、合同同窓会の活動を通じて、東海地区で母校のブランド名を大いに高めたいと思っています。

ところで、名古屋支部では、「兼六会」というゴルフ同好会があります。年に3回ずつ開催しており、7月に第106回の大会を開催します。これからも、この「兼六会」を続けていくことで、同窓会活動の基盤強化の場にしたと思っています。

（名古屋支部長 上野 健 記）



2020年度の名古屋支部の役員は、以下のとおりです。

支部長	上野 健（経23期）
副支部長	壺谷 幸也（法26期）
幹事長	西尾 安弘（経25期）
監事	宮澤 俊夫（法21期）
事務局	亀島徳太郎（文48期）
顧問（前支部長）	森 博一（経7期）

名古屋支部 連絡先

〒466-0059 名古屋市昭和区福江1-25-26

株式会社永和商事

Tel. 052-884-2805 Fax. 052-884-2817

支部長 上野 健 (E-mail: ueno@eiwasyoji.com)

福井支部

支部長 村田 治夫

福井支部のご紹介

福井支部では第26回の総会、講演会、懇親パーティーを2019年7月27日（土）に、福井商工会議所コンベンションホールで開催しました。

会合には、母校金沢大学、同窓会本部、そして東京・関西・名古屋・富山の各支部代表、更には四高会、金沢工業会、医学部十全同窓会、教員同窓兼六会の方々をご来賓としてお招きし、会員と合わせて52名のご参加を頂きました。

記念講演は、同窓生の（特非）福井県日独友好親善協会会長の村田（畑）幸子氏（文29期）による「福井とドイツをつなぐもの～日独文化交流のあゆみ～」と題して、福井県とドイツの交流についてご講演頂きました。

懇親パーティーは、母校金沢大学の懐かしい思い出話に花が咲き、終始和やかな雰囲気、恒例の金沢大学校歌、四高寮歌等を声高らかに合唱しました。今回は、懇親パーティーの中で、大橋紀美さん（文29期）から金沢とも縁の深い「能」のお話を頂くとともに、一部分をご披露頂きました。

福井支部の次回総会ですが、1年半毎の開催となっておりますので、第27回福井支部総会は令和2年11月15日（日）に福井商工会議所コンベンションホールにて開催いたします。講演会の講師・演題等は未定ですが、出来るだけ工夫をこらした講師、演題にしたいと思っています。

その頃までには新型コロナウイルス騒動も終息してほしいものだと思っています。同窓生の皆様には、出来るだけ知人、友人にお声がけを頂きまして、是非とも第27回総会、講演会、懇親パーティーにご参加頂きますようお願いいたします。

（福井支部長 村田治夫 記）



福井支部 連絡先

〒910-0019 福井市春山一丁目3番23号

司法書士法人 高橋・浅井事務所

Tel. 0776-24-5985 Fax. 0776-24-2195

幹事長 浅井正勝 (E-mail: azai@ta-shihou.co.jp)

各支部の活動報告

富山支部

支部長 松田 光司

総会・講演会・懇親会を開催

令和2年2月14日、カナルパークホテル富山において、金沢大学法経文同窓会富山支部総会・講演会・懇親会を開催しました。本会は2年に1度開催されており、来賓として法経文学部同窓会副会長、東京・関西・名古屋・福井の各支部長等にもご出席いただき、今回は121名の会員が交流を深めました。

総会では、活動報告や会計報告の後、会費の一部と会計から10万円を金沢大学に寄付することを提案し、承認されました。

講演では、加納博副学長より、「母校の近況報告」と題して、現在重点的に取り組んでいる研究内容等についてわかりやすくお話をいただき、参加者全員の愛校心をさらに高めていただくことができました。

懇親会では、27回卒の片山睦山さんの尺八、石田雅楽穂さんの箏による合奏で厳かに開幕し、松田光司支部長の挨拶・大学への寄附贈呈、新木富士雄北陸電力名誉顧問のご発声による乾杯で賑やかに交流を開始しました。懇親会では、現役学生の金沢大学フィルハーモニー管弦楽団が弦楽四重奏を演奏し、華やかに盛り上げて頂きました。

最後には出席者全員が校歌合唱し、次期支部長の小嶋達也世話人による中締めで閉会しました。

今回は、7回卒から67回卒までの幅広い方々にご参加いただき、特に若手会員の参加を積極的に働きかけたところ、20代で32名を交えた若々しい会となりました。

なお、本総会を経て、支部長が交代いたしました。引き続き、富山支部の発展に向けて尽力いたしますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

(事務局 田口大輔 記)

<令和2年度役員>

支部長	松田	光司	(経33期)
世話人	出来田	肇	(法32期)
世話人	小嶋	達也	(法33期)



松田支部長から加納副学長(左)へ寄付の目録を贈呈

富山支部 事務局連絡先

〒930-8686 富山市牛島町15-1

北陸電力株式会社 経営企画部内

事務局 田口 大輔 (経48期)

各地の同窓会の報告

北海道法文会

北海道法文会は、2011年に道内の他学部同窓会と連携し「金沢大学北海道学友会」に統合され、法文同窓生の交流は、その中で深めております。会員は多士済々ですが、毎年、学友会総会の締めとなる校歌と寮歌の斉唱に欠かせないのが、北溟寮OBの和田健夫小樽商科大学学長です。3月末で2期8年の学長任期を終えるにあたり、以下の一文を寄せてもらいました。

1950年（昭和25年）に高知県で生まれ、75年（同50年）に金大法文学部法学科・北溟寮を25歳で卒業しました。山崎光悦学長とはほぼ同世代です。山崎学長のお話では学生時代に私の居た寮にも何度か来られたそうなので、どこかでお会いしているかも知れません。卒業後はさらに北に移動し、北海道に住み着いてこの3月で43年になります。

私が金大生であった70年代は、69年（高校3年生の時でした）の東大安田講堂事件をピークに下火になったとはいえ学生運動の余波が色濃く残る一方で（何でも権威に逆らう風潮がありました）、後に「ジャパン・アズ・ナンバーワン」と称された経済成長が幅広い選択肢を若者に与えていた時代でした。ねじれた状況のなかで、大学生の多くは、安定志向に走りましたが、心のどこかで、精神の自律、ものを考える自由は奪われたくないという気持ちをもっていたように思います。

2013年の春、私を育ててくれた寮を36年ぶりに一人で訪れました。学部・大学院（修士課程）を含めて7年も過ごしたにもかかわらず道に迷い、やっと見つけたわが梁山泊・北溟寮は、ボロボロの状態でしたが、確かにそこに在りました。それまで心の隅に追いやっていた寮生活の思い出が一気に蘇り、万感胸に迫るものがありました。

寮生であったため必然的に寮歌をはじめ、さまざまな歌を覚えました。私が一番好きなのは、新しい大学をつくる人々の希望と意欲を謳う室生犀星の詩にかかる校歌「天うつなみ」です。

母校のますますの発展を心よりお祈り申し上げます。

和田先輩は、学長退任とともに小樽商大も退職し、小樽に住み続ける予定です。

「できれば、1年間は、読書をして過ごしたい。ブランクが長すぎて研究生生活には戻れそうにありません」と話しておられますが、専門は昨今何かと話題の独占禁止法を含む経済法です。まだまだご活躍を期待しています。

（金大北海道学友会理事 武野伸二＝1978年経済卒）



和田健夫 前小樽商科大学長

会報誌発行協力金ご入金ご芳名

(敬称略)

「法経文学部同窓会 会報誌」発行にあたり、会員の皆様にご協力をお願いしております。

総勢257名の皆様から協力金のお振り込みをいただきました。(令和2年4月23日現在)

心よりお礼を申し上げますとともに、ご芳名の会報誌記載にご了解をいただきました方々をご紹介します、
お礼にかえさせていただきます。 役員一同

卒回	氏名	卒回	氏名	卒回	氏名	卒回	氏名	卒回	氏名	卒回	氏名
法1	鳥毛 茂信	経8	前田 邦光	経12	島田誠一郎	経18	森野 誠一	法25	菊地 専司	文38	増井真由美
法1	千田 茂	文8	松本 隆夫	経13	加藤 寛二	経18	新宅 剛	法25	村田 治夫	経40	喜多 雅之
経2	高畠 憲生	法8	浅野 俊彦	経13	川嶋 宣之	経18	赤羽根純明	経26	水澤 英雄	経40	中村 孝治
法2	川崎 俊雄	法8	米村 晋	経13	中西 紀夫	法18	宮越 宏之	経27	伊井 一之	経41	丸田 康央
経3	志賀 謙三	経9	吉田 直文	経13	龍田 陽	法18	島 稔	法27	辻嶋 彰	経41	寺井 尚孝
文3	岩城谷 滋	法9	前川 久光	法13	岡田 明	法18	木梨 松嗣	経28	田中 哲二	経42	下濱 紀昭
法3	桶谷 弘	経10	宮岸 義宏	法13	松波 繁夫	法18	東方俊一郎	文28	杉渕 由博	法44	合田 篤子
法3	田中 幹夫	経10	村田紀代司	法13	大橋 康孝	経20	遠藤 正典	法28	伊代田誠二	法46	福本 知行
経4	八田 彰	法10	荻野 恭司	法13	佐藤 俊春	法20	沼田 博幸	法28	浅野 信也	法49	犬塚 雅文
経4	宮崎 博史	法10	加藤 恭三	経14	南 雅雄	法20	大平 文人	経29	小林 正人	法49	雪 政弘
経4	宮川 譲二	法10	河端 恒夫	文14	東 紘	法20	南 外至久	法29	飴谷 義博	文50	小山内俊平
経4	櫻木 昌靖	法10	水野石太郎	法15	松岡 良夫	経21	本 秀行	経30	太田 敏明	法51	鷹橋 健二
法4	作田 豊光	法10	面野 佯志	経16	井戸 秀清	法21	伊東茂外樹	経30	鳥越 伸博	経54	浜名 香菜
経5	高島 信久	経11	深山 彬	経16	村本 賢一	法21	桶屋 幸蔵	法30	森田 豪	経54	山口 陽平
経5	太郎田 隆	経11	前澤 忠彦	法16	坂田 清一	法21	安宅 建樹	法30	棚橋 智明	法55	丸山 英樹
文5	長島 賢良	法11	幸道 敏寛	法16	大野 邦昭	法21	大路 孝之	法31	角地 裕司	法55	大橋 佳祐
法5	有塚 達郎	法11	竹下 崇夫	経17	久保 晋	法21	大江 洋造	法32	藏 大介	法56	徳田 隆裕
経6	青木 銑一	法11	徳田 智律	経17	水野 幸二	経22	宮本 和久	経33	川並 剛	経56	奥村 成智
経6	相川 弘次	経12	松井 敏治	経17	千田 嘉明	経22	松縄 宏	法33	吉田 浩司	経57	安福 典子
経6	大坪 常夫	経12	谷口 晃博	経17	白井 紘	文22	藤嶋 稔	文36	宇喜多弘幸	人57	竹内寿美恵
法6	光地 勇一	経12	梅田 弘道	法17	小谷 吉郎	法22	中山 正隆	法36	作田 豊	法59	関根 裕基
法6	政木 武夫	文12	井口 紀美	法17	林 逸男	経23	上野 健	法36	林 勝己	経62	大友 俊弥
経7	宮本 治郎	文12	三益 隆一	法17	中田 好昭	文23	黒柳 和夫	経37	高山 邦明	人66	大津 真実
経7	尾崎 陽一	文12	柳田 充	法17	油谷 哲	文23	高見伊三男	経37	坂田 昌隆	人67	釣本 俊行
経7	浜岡 孝雄	文12	徳田 寿秋	法17	高木 司朗	法23	西 正紀	法37	森 英之		
法7	宮元 昭	文12	北 実	経18	加藤 嘉彦	経24	廣村 裕二	法37	黒川 孝之		
法7	中橋 正則	法12	倉地 正英	経18	桐山 直泰	経24	成田 隆澄	経38	和久田佳世子		

金沢大学法経文学部同窓会 2020年度 役員名簿

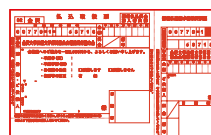
顧問	山崎 光悦（金沢大学長）	加藤 晃（法5回卒）
会長	安宅 建樹（法21回卒）	
副会長	新宅 剛（経18回卒）	槻木 裕（文19回卒）
	伊東茂外樹（法21回卒）	大路 孝之（法21回卒）
東京支部長	中田 好昭（法17回卒）	
関西支部長	森 恵一（法28回卒）	
名古屋支部長	上野 健（経23回卒）	
福井支部長	村田 治夫（法25回卒）	
富山支部長	小嶋 達也（法33回卒）	
事務局長	鳥越 伸博（経30回卒）	
監査役	後出 博敏（経16回卒）	
相談役	村井 淳志（人間社会学域長）	三浦 要（人文学類長）
	合田 篤子（法学類長）	寒河江雅彦（経済学類長）
	佐川 哲也（地域創造学類長）	古畑 徹（国際学類長）
	新田 哲夫（人間社会環境研究科長）	尾島 茂樹（法学研究科長）

会報誌発行協力金のお願い

いつも法経文学部同窓会に多大なご支援をいただき役員一同深く感謝申し上げます。
会報誌発行へのご協力をお願いして今回で9度目となりますが、多数の皆様からの一層のご協力をお願い申し上げます。

一口2,000円からとなっております。同封の払込票をご利用下さい。

なお、ご協力いただいた皆様のお名前は、次号の「会報誌」で掲載させていただきます。



金沢大学からのお知らせ

第13回金沢大学ホームカミングデイを開催しました！

令和2年10月26日（土）、本学角間キャンパスにおいて、第13回金沢大学ホームカミングデイを開催しました。歓迎式典には215名、懇親交流会には183名の卒業生及びそのご家族等にご出席いただき、大変盛況で賑やかな1日になりました。歓迎式典では、山崎光悦学長の歓迎挨拶、山出 保 金沢大学学友会会長の祝辞、福森義宏 理事・副学長による金沢大学の近況報告、日本人学生（2名）による留学体験報告、そして今回初めての課外活動報告（ボート部）が披露されました。

特別講演では、ファイザー株式会社代表取締役社長 原田明久 氏（昭和61年医学部医学科卒業）に、「“Own It” 行動せよ～明日のために、今、できること」と題し、メディカルドクター（製薬会社内で働く医師）の役割とファイザー株式会社の企業目的、そしてそれを達成するために全社をあげて対応している内容について、詳しく説明があり、この考え方と行動規範は、金沢大学の今後のあるべき姿に通ずるものがありました。

夕刻から開始した懇親交流会は、山出学友会会長の発声で乾杯しスタートしました。乾杯は、金沢大学生協オリジナルの日本酒で行われました。会場では、本学卒業生の女性4人組木管アンサンブル「ナチュール・クインテット」による演奏で、懇親交流会を華やかに盛り上げていただきました。その後、恒例の揃いの法被に身を包んだ卒業生有志による四高寮歌「北の都」「南下軍の歌」の高唱もあり、最後は全員で「校歌」を歌い上げ、懇親交流会は大いに盛り上がりしました。

次回、第14回金沢大学ホームカミングデイは、令和2年10月31日（土）に開催します。この前後に同期生やサークル仲間のみなさまとの同窓会の開催をご計画いただき、懐かしい母校にぜひお越しください。



特別講演講師 原田 明久 氏

歓迎式典で校歌を歌う出席者
(角間キャンパス自然科学大講義棟)

懇親交流会で校歌、寮歌を歌う有志の皆様

同窓会事務局からのお願い

▶宛先不明で郵便物が戻ってくるケースが見受けられます。転居の際は、下記QRコード、もしくは表紙記載の事務局アドレスまでご連絡ください。ホームページの「お問い合わせ」からもご連絡頂けます。



▶単位同窓会からの寄稿を随時募集しています。

編集後記

例年以上にうっとうしさを感じる梅雨をお過ごしかと思います。

金沢も新型コロナウイルスの影響で兼六園にお花見に行けず、毎年楽しみにしている百万石行列も中止となり、おうち時間を余儀なくされておりました。

早く日常に戻ることを願いつつ、願うだけでなく終息に向けて実践しつつ、来年のオリンピックを楽しみにしたいと思います。（事務局）